

令和 7 年度第 1 回愛南町入札監視委員会 審議概要

審議完了日	令和 7 年 9 月 8 日（月）	
出席委員氏名	委員長 木下 尚樹（愛媛大学大学院理工学研究科准教授） 委 員 澤本 陽一（税理士） 委 員 脇田 佳成（(株)愛媛建築住宅センター）	
審議対象期間	令和 6 年 12 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日	
抽出案件	総件数 3 件	（備考）
一般競争入札	2 件	抽出の考え方 無作為に案件を抽出。（脇田委員が案件を抽出。）
指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	質問・意見	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回 答
議題 1 令和 2～令和 6 年度愛南町入札契約状況について ・特になし 議題 2 抽出事業の審議について 【抽出事業①】 ◇消防救急デジタル無線改修工事 ・予定価格 215,380,000 円と高額な工事を随意契約とした理由。 ・公募型プロポーザル方式の参加条件の中で、愛南町競争入札参加有資格者名簿に登載されていることとあるが、該当する業者数は何者いるか？ ・類似工事の施工実績は、電気通信工事であればよいか？	・本工事は運用から 10 年が経過する消防救急デジタル無線を改修し機能強化を行うもので、通報受付から災害出場する車両及び隊員に対して、効率的に無線指令を行い、消防力の充実強化を図ることで、町民の生命、身体及び財産を災害から保護し、被害を軽減することを目的としており、単に価格のみで競争入札を行うのではなく、各社の提案により、より良いものを調達するため公募型プロポーザル方式にて選定した実績のある業者により施工したく、地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号の規定により随意契約にて執行したものです。 ・本工事は電気通信工事であります。該当する業種で登録のある業者数は、町内 0 者、準町内 7 者、県内 27 者、県外 25 者の計 59 業者です。また、類似工事の施工実績を求めているため、実際は 59 者より少なくなると思われます。 ・救急デジタル無線の設置改修等工事を求めることとしています。

・公募型プロポーザル方式での業者選定をおこなっているが、下限の点数を設定しているか。 【抽出事業②】 ◇猿田団地 103 号室排水配管改修工事 ・工事内容と入札参加条件について。 ・配管の補修ということだが、管工事での発注が適当ではないか？ 【抽出事業③】 ◇御荘保育所空調改修・照明 LED 化更新工事 ・一般競争入札で最も予定価格が高い工事。	・本工事については設定していませんが、実施要領を定める特定会議において、必要と認められる場合には設定することとしています。 ・工事は特定公共賃貸住宅において、床下に設置してある排水管にずれが生じ、漏水していたことから、漏水箇所の補修工事を行ったものです。入札参加条件は、許可業種は建築一式工事業、町内に本店営業所を有する、格付け A・B・C・D 等級の業者、施工実績として建築工事を求めるものとしています。 本工事における応札者は 3 者で、予定価格 5,027,000 円に対して、最低入札価格 4,625,500 円（落札率 92.0%）で緒方建築が落札しております。 ・部屋内の漏水箇所が複数あり、床を一度撤去する必要がありました。そのため、配管の補修と床の張替え等比較した結果、配管の直接工事費の割合が低かったことから、建築工事での発注としております。 ・本工事は施設内にある空調の改修と、照明の LED 化を施工した工事です。入札参加条件は、許可業種は管工事業、町内に本店営業所を有する業者で、施工実績として空気調和設備工事を求めるものとしています。本工事は 4 者から入札がありましたが、書類の不備により 1 者が無効、有効な入札は 3 者となりました。本案件は
---	--

・空調工事と照明の LED 化の複合工事になっているが、管工事で発注した理由は？ ・総合評価落札方式の、評価基準について。 議題 3 その他 ・特になし	総合評価落札方式であり、評価値算出の結果、予定価格 63,063,000 円に対して、入札価格 58,080,000 円（92.1%）で(株)愛南設備が落札しております。 ・設計書を確認した結果、空調工事の直接工事費の割合が大きかったことから、管工事で発注しております。 ・評価の項目は大きく分けて、企業の施工能力について、配置予定技術者について、企業の地理的要件地域貢献度についての 3 つについて評価し、算出して評価値について落札者を決定します。
---	--